

令和8年度和歌山市立高積学校スクールプラン

校長名 田伏 豊英

作成日

2026年5月11日

和歌山市学校教育目標

- ◇ 確かな学力の育成
- ◇ 道德教育の充実
- ◇ 健やかな体の育成
- ◇ 特別支援教育の充実
- ◇ 不登校・いじめ問題の解消
- ◇ 子供の安全確保の徹底
- ◇ 地域とともにある学校づくりの推進

【学 校 教 育 目 標】

心豊かで、たくましい生徒の育成

【めざす児童（生徒）像】

- ・自ら学ぶことができる生徒
- ・自ら考えて正しく行動することができる生徒
- ・心身ともに鍛え、努力できる生徒

前年度の学校評価

- 基礎基本を押さえた授業を行っている
- 地域との連携がおおむねできつつある
- 学校の様子が保護者・地域等に伝わるようになってきている

児童（生徒）の実態

- 生徒の規範意識は高まりつつある
- 生徒は素直に挨拶ができています
- 家庭学習習慣の定着に課題がある
- 粘り強さに欠けたり、自ら進んで実践する態度が十分でないところがある
- 多くの生徒が部活動に熱心である

保護者・地域の願い

- 学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- いじめや暴力を許さない子どもに育ててほしい
- 地域の人材をもっと活用してほしい

重点目標

確かな学力の向上

- ◎指導方法の工夫改善を図る
- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎家庭学習の習慣化及び定着
- ◎キャリア教育を通し、主体的に将来を見据えた進路選択を図る

豊かな心の育成

- ◎人権・同和および道德教育を推進し、人権意識を高める
- ◎道德教育の充実
- ◎良好な仲間づくりの育成
- ◎自己肯定感を高める

健やかな体の育成

- ◎体力向上を推進する
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎交通安全指導の徹底
- ◎危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携の充実
- ◎中学校区における小学校との連携を推進
- ◎学校からの情報発信に努める

具体的な取組

- 学力向上を目指して学びあいの授業づくりの定着を図る
- 教科に関係なくお互いの授業を見合い研鑽を行う
- 「和歌山の授業づくり3か条」を徹底させた授業を行う
- キャリア教育にかかわる学習を行い、自身の将来像を見据えさせる
- ICT機器の活用
- 朝読・朝学の継続

- ◎特設授業を含め人権同和学習に組織的・計画的に取り組む
- ◎道德教育充実の授業形態・内容など実践の授業改善に向けて取り組みを進める
- ◎教職員全員が協力し、授業時、昼食時、清掃時、部活動時等の場を活用して、生徒指導理解に努め、方針に則った組織的かつきめ細かい生徒指導を実践する
- ◎自主的に取り組める活動機会を設定し取り組む態度を育む
- ◎校門であいさつ運動を行う

- ◎基本的生活習慣の確立のため、家庭にも協力をしてもらう
- 運動部活動を通して、体力強化を推奨していく。また、昼休憩は積極的にグラウンドにでて遊ぶように働きかける
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 下校指導を定期的に行う
- 避難訓練を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- ◎学校運営協議会の開催
- ◎各種便り、HP等を通して、積極的に教育活動を発信する
- 中学校区での、小・中・高の連携を推進する
- 保護者や地域の方々に来校しやすいように工夫する

指標

- ・学校評価アンケート(生徒用)で学習に関するすべて項目で80%以上の肯定的な回答を得る

- ・学校評価アンケート(生徒用)で「学校生活は、おおむね楽しい」で95%以上肯定的な回答を得る
- ・いじめの発生件数の減少・解消の件数の増加

- ・体力テストの各種目の測定値を全国平均より上回る
- ・避難訓練、交通安全指導を定期的実施する

- ・学習評価アンケート(保護者用)で「家庭・地域は学校に対しそれぞれの役割を果たし、連携・協力ができている」で80%以上の肯定的な回答を得る

◎…特に重点的に取り組むこと